

「最近の子どもはあいさつができない」、「あいさつをしても素通りされてしまった」という話を聞くようになって久しい。

このことは、何も子どもたちに限った話ではなく、私たち大人も含め社会全体に広がっている『大きな問題』であると考ええる。

私たちにとって、あいさつは人と人とのコミュニケーションの出発点であり、人としてよりよく生活をする上で大切にしなければいけないものの一つではなからうか。

しかし、今、多くの方々があいさつの大切さについてわかってはいるものの、社会全体として、無機質な関係が蔓延してしまっているように感じる。活字のみのコミュニケーションが主流になり、一言も言葉を発せずとも普通に買い物をする事ができる。顔を合わせず画面上の操作だけでほとんどのことを行うことができるようになってきた。

とても便利で『進んだ』世の中になった今だからこそ、私たちにとつて大切な『あいさつ』についてしっかりと考えていきたい。

まず、コミュニケーションはあいさつに始まりあいさつに終わるということである。場に応じた言葉で、表情や動作についても気を配りながら行うこと。そして別れる際もしつかりとあいさつを行うこと。こ

れらが、その人とのよりよい関係づくりに直接つながるのではないだろうか。

次に、『交わす』あいさつを心がけることである。あいさつは一方通行のものでは決してなく、双方の意思疎通の出発点である。相手に返させるのではなく、自然と相手が返したくなるようなあいさつができるよう心がけたい。

さらに心がけたいことは、できるだけ相手の名前を呼ぶことと、『プラスひとこと』を意識することである。相手をより大切に思う気持ち伝えることや、あいさつを形だけのものとせず、次の会話につなげる大切な手段としてとらえていきたい。

家庭や地域、職場や学校、お店など、自分のできる場所で、それぞれが、自分なりの考えをもって『あいさつを交わす』ことにより、一層温かい場所がたくさんでき、その思いはしっかりと広がっていくのではないだろうか。

必要ない、面倒だという感覚はきっぱりと捨て、『あいさつは多くの人とよりよい関係を築くことができるチャンス』だと考え、あいさつを『交わす』ことにより、温かい人が暮らす町、都留市をつくっていくことができるものと考ええる。



毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第277回

# 「あいさつを交わそう」

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

## 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：行政管理課 秘書広報担当

## 広告料金

| 掲載場所 | 印刷色  | 金額 / 枠 | 備考    |
|------|------|--------|-------|
| 裏面   | カラー  | 20,570 | 2カ月掲載 |
| 内面   | 2色刷り | 10,280 | 2カ月掲載 |

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄